



知の探究

総合的な探究の時間に行われている「知の探究」の令和3年度発表会が行われ、各学年の最優秀作品が決まった。

研究から得た学び

3年 高橋 花野

私たちは『SDGsを秋田から』というタイトルで研究を行いました。SDGs——近年よく耳にする単語ですが、私たちは本当にその意味を理解しているでしょうか。実際、秋田県におけるSDGs貢献度は全国の中でもかなり低く、SDGsに対する意識が希薄であるように思えます。そこで私たちの研究では、秋田県の傾向を調査し、秋田の強みを活かして短所を補うような新しいSDGs貢献活動を考察しました。

今までの研究過程を振り返ると、思い浮かぶのは班員みんなが必死に討論を交わす姿です。問題を指摘し、話し合い、修正するというサイクル。何度繰り返したかわかりません。最後の最後まで粘り強くこのサイクルを続けることができたのは、班員みんなが、研究を限りなく完璧に近づけたいという意思を持っていったからだと思います。そして、あの一致団結して一つのものを完成させようという空気感こそが、私にとって最大の学びであったと今になって気付かされました。

1年間にわたる知の探究を通して、本当に素晴らしい経験ができました。班員を始めとし、協力してくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。



最優秀グループの発表の様子

イザベラ・バードを追って

2年 佐々木 陸

コロナ禍で県外との往来が困難になり、秋田県における修学旅行の位置づけは大きく変わりました。東京や京都など日本の政治や経済、文化の中心地に行き見聞を広めるというものから、今まで知らなかった秋田のことを学び故郷への理解を深めるというものになりました。そこで私は、明治時代に日本を旅したイギリス人女性イザベラ・バードに着目し、彼女の秋田での旅路を基に現代と明治の比較と修学旅行ルートの作成を行いました。

私はまず、イザベラ・バードの著書『Unbeaten Tracks in Japan』の未翻訳の部分を読み明治時代の秋田について情報を得ました。そしてその情報を現代と比較し、脚気の減少や交通の便の向上、家屋の耐久性の向上などを現代にかけての発展としました。また彼女が通った道のりを修学旅行のコースとした。情報収集の過程で、私自身知らなかった秋田の歴史を知ることができ探究活動の面白さを実感しました。これからも様々な観点から物事を結びつけ、新たな発見をして社会に貢献していきたいと思っています。

イザベラ・バードの足跡をたどり秋田の発展を探る修学旅行計画

D組14番 氏名 佐々木 陸

背景・目的	考察
<p>1. 修学旅行の目的の明確化、多様化、フレキシブルな計画の実現</p> <p>① 修学旅行の目的を明確化し、多様な活動を取り入れる</p> <p>② 修学旅行の目的を明確化し、多様な活動を取り入れる</p> <p>③ 修学旅行の目的を明確化し、多様な活動を取り入れる</p>	<p>当時の様子や現代の生活にある物と比較する。</p> <p>人口：明治初期3倍、機手約22倍、大館約3.87倍</p> <p>大館(秋田市内)で約7倍の人口増加</p> <p>健康：食生活の改善で不足は解消</p> <p>① 空気汚染の激減、但し現代は過剰なエアコン、高層ビルによる差圧差</p> <p>② 木造→鉄骨造の転換、多様な建築スタイルの出現</p> <p>③ 住環境：家屋の耐久性の向上</p> <p>④ 統計：明治時代の日本人平均体重を男性30kg、女性47kgとし、男女5人ずつが一歩一人あたりの平均体重に達し、腰に重さが増した。</p> <p>当時の家屋の面積 485㎡</p> <p>イナ・物語CRIA・家賃型 4,500㎡</p> <p>イナ・物語CRIAは約3倍の大きさに拡大され、安全性が大幅に向上し、但し人々の知性や倫理意識も洗練され、腰に重さが増した。</p> <p>交通機関：移動距離200%</p> <p>① 鉄道：12時間かけて15マイル(24km)移動したという記録から、乗客の移動距離(20km)と比較)</p>
方法	結論
<p>① Unbeaten Tracks in Japan, Isabella L. Bird, 1880を精読し、著者が訪れたルート、当時の人々の生活や文化を把握する。</p> <p>② 当時の秋田の様子と現代を比較し、発展を可能な限り数値化する。</p> <p>③ 発展を中心に見とれをマップ化し、修学旅行の提案を提案する。</p>	<p>1. 明治初期から現代にかけて、秋田では産業革命と住環境、交通機関に大きな変化があった。</p> <p>2. この変化を基に秋田の歴史や文化を学び、現代と対比し、修学旅行の計画を立てる。</p> <p>3. 今後秋田県、十和田、大館、大館市、奥羽山麓に秋田が誇る自然環境を基に、秋田の魅力を伝えることで秋田の発展に貢献する。</p>
結果	参考文献
<p>著者が訪れたルートはおおよそ次の図のようになる。</p> <p>服装：女性、長い着物を着て、男性は袴を着て、前掛けを一枚にたよる。秋田の市街地は、明治時代から変わっていた。</p> <p>住環境：秋田(秋田市内)：市街地が盛んで、人口約36,000人。秋田(秋田市内)の人口が盛んで、人口約36,000人。秋田(秋田市内)の人口が盛んで、人口約36,000人。</p> <p>大館：人口約5,000人。大館(秋田市内)の人口が盛んで、人口約5,000人。</p>	<p>① Unbeaten Tracks in Japan, Isabella L. Bird, 1880</p> <p>② Google Maps: https://www.google.com/maps</p> <p>③ 秋田県庁：秋田県庁ウェブサイト</p> <p>④ 秋田県庁：秋田県庁ウェブサイト</p> <p>⑤ 秋田県庁：秋田県庁ウェブサイト</p> <p>⑥ 秋田県庁：秋田県庁ウェブサイト</p> <p>⑦ 秋田県庁：秋田県庁ウェブサイト</p> <p>⑧ 秋田県庁：秋田県庁ウェブサイト</p> <p>⑨ 秋田県庁：秋田県庁ウェブサイト</p> <p>⑩ 秋田県庁：秋田県庁ウェブサイト</p>

クリニック八橋和田内科

院長・医学博士 **和田 勲** (昭和63年卒)

ISAO WADA

〒010-0962
秋田県秋田市八橋大畑2丁目3番3号
TEL:018-824-8770 FAX:018-824-8771
<http://clinic-yabase-wada.com/>

A Group Company of

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機株式会社 秋田県代理店

菱明三菱電機機器販売株式会社

取締役社長 **寶田 謙一** (昭和63年卒)

【本社】秋田市旭北錦町1-14 秋田ファーストビル4F TEL:018-862-5511 FAX:018-865-1099

アフラック募集代理店

法人会福利厚生制度推進担当
生命保険協会認定FP

近藤 拓明
Kondo Hiroaki
(昭和63年卒)

〒018-1601
南秋田郡八郎潟町真坂字大川作120
TEL 018-875-5077
E-mail hiroakon@aol.com